



巻頭の辞

九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令
陸将補 竹内 綱太郎

めたばる

発行

令和4年10月
自衛隊目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161



ツイッター



@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地

9月現在
約9,000
フォロー中！

「フォロー」
「いいね」
お願いします。

「駐屯地ツイッター発信中」
目達原駐屯地隊員の訓練
行事・災害派遣情報など、
満載！是非ご覧下さい。

ホームページ



記念式典で巡閲する竹内司令

ようやく暑さも和らぎ青空が澄み渡り天高く晴れ秋の気配も感じることが出来る季節となりました。今年は偏西風の影響により、梅雨の中休みが非常に長くなり、その間は猛暑日が続くという夏になりました。この暑い夏の間、駐屯地各部隊は、コロナ感染予防対策と並行して熱中症にも注意を払い各種訓練・業務を遂行しました。

さて、秋は「実りの秋」、「収穫の秋」とも言われます。当駐屯地におきましても長い夏の間にしっかりと育てたもの（各種教育・訓練）を実らせ収穫する（成果をだす）時期です。

九月十一日には、三年ぶりとなる「駐屯地創立六十八周年記念行事」を開催し、盛会裏という大きな収穫を得る事ができました。これは、年度初めから「復活」を合言葉に準備を行ったことはもとより、防衛協会、駐屯地OB会をはじめとする駐屯地を応援してくださる方々のお力添えがあったことだと感じています。

これから駐屯地は訓練最盛期となっていくきます。夏の間に育てたもの（各種教育・訓練）をしっかりと実らせ収穫（高い練度と規律・士気・団結）していく、佐賀県唯一の陸上自衛隊として地域の皆様から信頼される駐屯地・部隊・隊員を目指していきます。



整列する観閲部隊

目達原駐屯地は、9月11日（日）駐屯地創立記念行事を行いました。令和元年に65周年を行って以来の開催となり、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、記念式典、祝賀編隊飛行、祝賀会食、装備品展示、車両体験搭乗、佐賀物産展、音楽演奏、バルーン体験等の各種イベントを実施しました。本記念行事は地域住民の皆様との久しぶりの交流の場となりました。

記念式典においては、観閲部隊指揮官以下約400名が整列する中、観閲官竹内陸将補は、「地域との連携」を一層強化して、地域の方々の更なる御理解と御協力が得られるよう引き続き尽力してもらいたい。」と述べ、記念行事の復活という使命の完遂を期し、盛会の内に行事を終えました。

コロナ対策を実施して3年ぶりの開催



装備品展示



ヘリコプターによる祝賀編隊飛行



バルーン体験（強風で飛び上がりませんでした（涙））



第8音楽隊による音楽演奏

九州補給処



大型トラックの体験試乗に笑顔でピース&敬礼



初めてのお化粧！？(ドーラン塗布体験)



夏休み子ども大会

7月23日(土)、駐屯地において「夏休み子ども大会」を開催しました。
「ドーラン塗布体験(迷彩フェイス体験)」、大型トラック試乗、装備品装着体験、ヘリコプター見学等のイベントに、佐賀県内の小学校4年生から6年生までの21名が参加しました。
ドーラン塗布体験では、顔の迷彩色への化粧(塗布)に当初は躊躇(ためら)いがちだった子供たちも、隊員が自らの顔に塗布を施し手本を示すと、少しずつ勢いがつき、見事な「顔面迷彩アート」を披露してくれました。また、偽装網で荷台を覆った大型トラックの試乗に大満足!ヘリコプター見学では「どうすればパイロットになれるの?」などの多数の質問が飛び交いました。
この日は子供たちから素敵な笑顔を沢山いただきました。



ヘリコプターに興味津々



装備品を装着し敬礼!

西部方面後方支援隊

「令和4年度第2次隊訓練及び訓練検閲」

西部方面後方支援隊は、令和4年6月15日(水)から6月20日(月)までの間、目達原駐屯地及び大野原演習場において、令和4年度第2次隊訓練を実施するとともに、西部方面輸送隊及び西部方面後方支援隊本部付隊投下支援小隊の訓練検閲を実施しました。
訓練においては、「指揮幕僚活動」、「前方支援地域の開設・維持運営」及び「警戒自衛戦闘」を主要演習項目として実施し、各隊は、警戒態勢の確立と並行的に支援業務を継続し、厳しい状況の中でも任務達成のため奮闘努力して訓練目標を達成しました。
訓練検閲においては、受閲する西部方面輸送隊長(永禮1佐)の要望事項である「冷眼熱心」、「悪戦苦闘の勝者たれ」を部隊及び各隊員それぞれ理解し、具現化に努め、3夜4日にわたる連続状況のなか、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、輸送任務を完遂しました。また、投下支援小隊においては、全国で唯一の方面隊隷下の投下支援部隊として平成30年度末に新編して以来、初の訓練検閲受閲となり、投下支援小隊長(吉留1尉)は、「役割を果たせ」を要望事項に掲げ、編成・装備が限定される中、全隊員が終始積極的かつ、高いレベルで訓練検閲に臨み、着実に積み上げてきた練成成果を遺憾なく発揮し、4夜5日にわたる空中投下補給任務を完遂しました。



島嶼部を想定した補給品の空中投下(大野原演習場)



UH-1のトレーラー積載(北熊本)



水陸両用車のトレーラー積載(相浦)



「令和4年度即応予備自衛官招集訓練研修」

西部方面後方支援隊は、令和4年6月25日(土)に目達原駐屯地において、退職予定隊員及び各級指揮官等を対象とした令和4年度即応予備自衛官招集訓練研修を実施しました。
当研修では、第105補給大隊及び第103弾薬大隊が実施する即応予備自衛官招集訓練の中で、各大隊が実施する訓練の一部を展示・説明するとともに、即応予備自衛官制度の概要や処遇、応募資格等の教育を行ったほか、陸士隊員と即応予備自衛官との懇談を実施し、即応予備自衛官としての企業との関わり等について、即応予備自衛官の生の声を聞く機会を与える等、研修参加者に対して、即応予備自衛官の実情や魅力を伝えることができました。今後も即応予備自衛官の確保を目的として継続的に研修等を実施していきます。



即自部隊管理者と
研修部隊指揮官等との懇談



即自隊員と退職予定隊員との懇談

※即自:即応予備自衛官

第1 戦 闘 へ リ コ プ タ ー 隊

令和4年度方面総監訓練検閲



展開地進入

第1戦闘ヘリコプター隊は7月15日（金）から20日（水）の間、大野原演習場において西部方面総監訓練検閲を受閲しました。ヘリコプター隊長は「脳漿（のうしよう）を振り絞り執念をもって現実的な戦い方を具現化せよ」「安全管理・健康管理」を要望事項とし、隊員一丸となり訓練検閲に臨みました。検閲間は発雷や豪雨に遭遇し、展開地域で浸水が発生するなど困難な状況もありましたが、最後のヘリコプター火力戦闘の任務も無事に完遂することができました。

隊容検査



野外係留



指揮所活動



西部方面ヘリコプター隊

方面隊離島総合訓練参加及び方面総監訓練検閲受閲

西部方面ヘリコプター隊は、令和4年7月15日（金）から20日（水）までの間、方面隊離島総合訓練に参加するとともに、方面総監訓練検閲を受閲しました。本訓練間、ヘリコプター隊の全隊員が「任務完遂」「無事帰還」を合言葉に、これまで積み上げてきた練成成果を遺憾なく発揮し、普通科連隊等の協同部隊と緊密に連携するとともに、悪天候を克服して、蓋然性が高い事態への対処に係る一連の任務を完遂しました。西部方面ヘリコプター隊は今回得られた成果を基に、引き続き任務遂行能力の向上に邁進します。

隊容検査



離陸直後のUH-60



第4 飛行 隊

ドアガン射撃訓練

第4飛行隊は、令和4年7月8日（金）から12日（火）までの間、鹿児島県佐多射撃場において、第



普通科連隊等との協同訓練（ドアガン射撃訓練）

射手による機関銃弾薬装填



洋上からのドアガン射撃



2次ドアガン射撃訓練を実施しました。本訓練では、「ヘリボンの基礎的練度向上」を目的として、UH-1多用ヘリコプターの機関銃搭載射撃訓練を行い、洋上からの機関銃射撃訓練を行いました。射手全員が合格基準をクリアし、師団の射撃要員を養成するとともに、射撃練度の維持向上を図ることができました。引き続き第4飛行隊は航空安全を確保しつつ日々の訓練に邁進していきます。

射撃係幹部による射撃号令



▽								▽								▽								▽
28日	21日	11月	27日	26日	20日	7日	6日	10月	26日	25日	9月	28日	11日	2日	1日	1日	1日	8月						
西へり	九処		九処	九処	西支	鳥栖	九処		1戦へり	九処		九処	九処	1戦へり	九処	九処	九処							
曹長	1曹		3佐	曹長	1曹	1曹	1曹		3佐	2佐		2尉	3佐	3佐	1曹	1尉	将補							
池上	小川		池田	江頭	赤司	山口	玉田		松浦	宮川		野口	常盤	遠藤	古川	倉原	佐々木							
善樹	篤		賢一郎	彰	幸久	忠徳	安計		祐寿	賀寿夫		淳一	岳雄	進一郎	靖博	行業	龍太郎							